

明治ホールディングス株式会社

2023年7月26日

報道関係者各位

## 岐阜県関市において森林づくり協定を締結 「きのこの山・たけのこの里の森～明治グループ自然保全区～」にて 森林保全活動を実施

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長：川村 和夫）は、2023年7月21日に、岐阜県関市武芸川地区の森林について、森林保全を目的とした森林づくり協定を締結しました。

明治グループは、2020年12月に明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を策定し、「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の4つのテーマに取り組んでいます。「水資源」では、2050年までに製品原料として使用する水の100%還元（ウォーターニュートラル）や、自社拠点での水使用量<原単位>の2020年度比半減を目標として掲げています。

ウォーターニュートラルの目標を達成すれば、事業活動における取水と排水による水資源への影響を実質的にゼロにすることができます。そのためには、水源涵養活動、具体的には森林保全、水田湛水や雨水浸透の取り組みが必要になります。

今回は、岐阜県が推進する「企業との協働による森林づくり」の一環として協定を締結し、森林保全活動を実施することで、森林の涵養機能の維持・向上を図り、水源涵養に寄与してまいります。

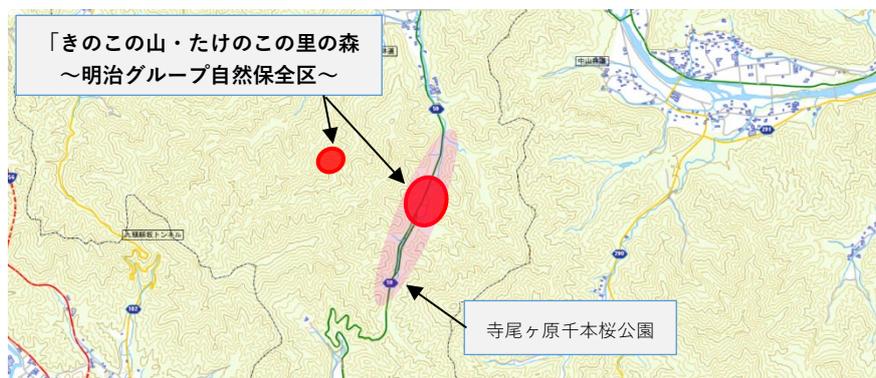
森林を、明治グループが販売しているお菓子「きのこの山」「たけのこの里」にちなんで「きのこの山・たけのこの里の森～明治グループ自然保全区～」と名付けました。「きのこの山」「たけのこの里」のネーミングは郷愁や自然、人間のやさしさといったものをイメージしており、今回の取り組みにふさわしいものと考えています。2024年度からは明治グループ従業員による森林保全活動を実施していき、取り組みを強化していく予定です。

明治グループは、今後も森林保全活動を積極的に進め、水源涵養以外にも、適切に森林の整備を行うことで森林の活力を取り戻し、生物多様性の保護、CO<sub>2</sub>吸収力や保水力の向上、水質浄化や土砂流出防止などさまざまな面で環境保全に貢献できるよう取り組んでまいります。

### < 森林づくり協定の概要 >

1. 所在地：岐阜県関市武芸川町谷口寺尾及び谷口欠ケ三洞地内
2. 協定面積：15.00 ヘクタール
3. 森の名称：「きのこの山・たけのこの里の森～明治グループ自然保全区～」
4. 締結期間：2023年7月21日～2028年3月31日
5. 主な活動：森林整備活動（植栽、下刈り、歩道整備）等

### ・ 位置図



至 岐阜市

### ・ 締結式



- ・ 岐阜県関市の森林風景



**【参考情報】**

- ・ 明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」  
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>
- ・ 明治グループの水資源について  
[https://www.meiji.com/sustainability/harmony/water\\_resources/](https://www.meiji.com/sustainability/harmony/water_resources/)
- ・ 岐阜県：「企業との協働による森林づくりについて」  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/564.html>

以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

明治ホールディングス株式会社      コーポレートコミュニケーション部  
TEL：03-3273-3917      メールアドレス： ir-info@meiji.com